

株式会社萬屋薬局



【対象類型】 革新的サービス

【事業類型】 一般型

事業
計画名

施設入所者を対象とする漢方薬の煎じサービス及び
ハーブ入浴剤の提供

煎じる手間をなくし、施設でも手軽に漢方の煎薬を服用可能に
肌の保湿、リラックスを促し温浴効果を高めるオリジナルハーブ入浴剤



自動生薬煎じ包装機・ハーブ抽出ユニット付。



同時に3種の漢方薬を煎じ、パック詰めができる。



1回分ずつパック詰めになった漢方薬とハーブ入浴剤。
入浴剤のパッケージは社員がデザイン。

事業の背景・目的

漢方薬は一人一人の体質や健康状態により、生薬を組み合わせた煎じ薬がもっとも効果的である。しかし、福祉施設入居者が漢方の煎薬を服用する場合、土瓶で煎じる時間と手間や匂いが原因で施設では対応できず、どうしても医療用エキス剤の処方になる。ただ、それでは一人一人の患者の症状に合わせた配合が難しく、十分な効果が期待

できない場合もある。

施設入居者の体調管理およびQOL (quality of life) 向上のために、これまで長年研究し培ってきた漢方の知識を活用し、施設や利用者の負担にならない効果的な漢方の煎薬とハーブ入浴剤を提供できればと、自動生薬煎じ包装機を新規導入した。

事業内容

生薬を組み合わせた漢方薬は、一人一人の処方箋を1日分だけ煎じていたが、15日から30日分をまとめて煎じて、1回分ずつをパックにして患者に渡すことが可能な自動生薬煎じ包装機を導入した。

従来は、患者ごとに生薬を調合し煎じていたため時間がかかっていた。自動生薬煎じ包装機では、各人に合わせて調合した漢方薬を一度に3人分同時に煎じ、パック詰めすることが可能になる。その結果、パック詰めした漢

方薬は常温で2ヶ月間保存が利き、処方された患者は1回分のパックを開封して服用することができる。

また、自動生薬煎じ包装機には、ハーブ抽出ユニットが付属しており、肌に良いとされるハトムギをベースに、天然の色や香りを楽しめるハーブを添付した皮膚にやさしい入浴剤を開発・製造することで、福祉施設の利用者に提供することが可能になる。



抽出したハーブオイルで
入浴剤を開発した。

居者でも手軽に漢方薬を服用できるようになった。また、煎じる時に発生する独特の匂いを周りに気遣う必要もなくなった。

入浴剤については、特別養護老人ホームでは清潔を第一に考えているため、頻繁にお湯の入れ替えをしなければならぬこと、また、入居者がハーブのリラックス効果がどこまで感じられるかが判断できないということから、今も検討中である。

事業の成果

自動生薬煎じ包装機でパック詰めにした漢方薬を、担当医師の処方により特別養老ホームに入居している3名に調剤して服用していただいている。それぞれの症状に合った漢方薬を煎薬で服用した。その結果、褥瘡(床ずれ)の軽快、縮小がみられ、有効例として日本東洋医学会に報告された。他にも原因不明の浮腫(むくみ)にも軽快がみられている。

漢方の煎薬は、施設では手間をかけることができなかった。しかし、煎じたものを1回分ずつ個包装し、まとめた日数分を渡すことができるようになったことで、施設入

今後の展望

煎薬については、施設入居者の効果も現れており、今後も施設入居者や外来患者に対して売上拡大を見込んでいる。

入浴剤については、デイサービス等で自立度の高い施設利用者を対象に提供を検討している。また、ハーブを生活に取り入れたいと思っているのは、30～50代の女性に多いとの市場調査から、高齢者に限らず幅広い層をター

ゲットに商品開発・一般販売も検討している。

ハーブの天然な香りとは、肌の保湿や心身のリラックス効果がある。ハーブと漢方薬をいっしょにした和漢ハーブ等、萬屋薬局ならではの提案と製品開発を行い、施設入居者の3大悩みと言われている便秘・褥瘡(床ずれ)および不眠の症状を軽減できるサービスを提供し、福祉施設入居者のQOL向上に寄与していく。

株式会社萬屋薬局

事業内容

1. 保険薬局
2. 医薬品・医薬部外品・生薬の販売
3. 健康食品の販売
4. 医療機器類の販売
5. 基礎化粧品販売
6. 介護用具・福祉用具の販売及び賃貸
7. 工業用・科学用薬品の販売



代表取締役 中村 妙子

代表者: 中村 妙子
設立年: 明治10年4月
資本金: 1,000万円
従業員: 65名

住所: 山形県山形市六日町2-3
電話: 023-623-1805 FAX: 023-623-1835
URL: <http://www.e-classa.net/yorozuya>
e-mail: ホームページお問合せより